



New

チーム力を10倍高める!!

思考法パワーアップ研修

▶ 本研修の概要とねらい

- ①個人・チーム・組織の各々に効く「思考法」を習得する
- ②具体的シーンでの実践的活用をワークを通じて体得する

▶ 主なコンテンツ

フレームワーク思考(モレなくダブリなく考える方法とは)、エゴグラム(自己分析)、GROWモデル(自分/部下の成長をデザイン)、効果的な話し合いの場をつくる4要素、集団思考のワナ、新たなアイデアを生み出す対話法、部下の意欲を高めるPDCAのコツ、切れ味抜群の業務改善手法、組織全体の成果に効く日本経営品質賞アセスメント基準など(詳細は裏面カリキュラム案をご参照ください)

▶ 演習/実習の内容

- ・各コンテンツに沿った個人&グループワーク
- ・日本経営品質賞受賞組織のDVD視聴+共有&構造化ワーク

▶ 受講対象(推奨)

- ・階層別研修(課長級・係長級・担当職員など)
- ・全職員対象研修

▶ 講師からの一言

「思考法」と聞いて、皆さんは何をイメージされるでしょうか。
「個人のこと」「頭の中のこと」「精神論」「ふわっとしたもの」
「組織の成果とはあまり関係ない」といった感じでしょうか。

実は、優れた成果を出し続けている組織には、一つの共通点があります。
それは、「思考法」への徹底的なこだわりです。
理由は簡単です。
成果は行動が生み、行動は思考が生むからです。

成果につながる思考法には、いくつかのパターンがあります。
スポーツでも頭脳ゲームでも、勝ちパターンや定石があります。
それを知っていることが、成果・勝利を得ることに直結するのです。

各職員の個人レベル、係などチームレベル、課以上の組織レベルと、局面に応じて、マスターすべき思考法があります。
個人の意欲向上、業務改善、組織全体の成果アップに
具体的効果をあげる(精神論ではない)思考法と一緒に学びましょう。



一般社団法人 日本経営協会講師
豊島英明(とよしまひであき)

1988年度神戸市役所入庁。住宅局(経理)、市長室(報道・ラジオ番組)、神戸港埠頭公社(経理・企業誘致)、行財政局(経営品質・行政評価)、北区役所まちづくり推進課長、職員研修所長、市長室国際課長、みなど総局企業誘致担当部長を経て、2018年度早期退職。

自ら講師となり自治体に経営品質の考え方を普及するため起業し、合同会社創発研修ラボ豊島屋を2019年設立(経営品質協議会認定セルフアッセサー資格取得)。神戸学院大学客員教授、早稲田大学招聘研究員。

著書に、『行政経営改革入門』『政策評価手法』『自治体バランス・スコアカード』『自治体職員がみたイギリス』『行政の質を高める8つの基準』など。

神戸市在職中の講師歴として、同志社大学社会人大学院非常勤講師、全国自治体・民間企業など多数。

【出講実績】

大阪府市町村振興協会、滋賀県市町村職員研修センター、和歌山県市町村職員研修協議会、香川県市町村振興協会、徳島県自治研修センター、徳島県、高知県、京都市、堺市、和歌山市、倉敷市、福山市、丸亀市、南丹市、斑鳩町、株式会社OMこうべ(神戸市外郭団体)

チーム力を10倍高める!!

思考法パワーアップ研修

— 1日研修or半日研修カリキュラム案 —

講義テーマ	主なコンテンツ
■はじめに <ul style="list-style-type: none">・成果を出す組織が共通して重視する「思考法」とは・精神論ではなく、具体的な成果に徹底してこだわる・フレームワーク思考(モレなくダブリなく考える方法)	<ul style="list-style-type: none">☞「思考法」にこだわる理由を理解する。☞「話し合いの質を高める」「組織として成果を上げる」ために、何をどんな順に考えたらよいか、モレなくダブリなく考える枠組み(フレームワーク思考)を理解する。
■「個人」の思考法 <ul style="list-style-type: none">・エゴグラム診断(自己分析)・GROWモデル(自分/部下の成長をデザインする)	<ul style="list-style-type: none">☞実際にエゴグラム診断し、自身の思考特性に向き合う。更にタイプ別の特徴、低位の自我の上げ方を学ぶ。☞GROWモデルの効果的な使い方を学び、目標達成のための考え方を身につける。
■「チーム」の思考法 <ul style="list-style-type: none">・チームが成立するための3条件・効果的な話し合いのできる「場」をつくる4要素・集団思考のワナ(優秀な人達がなぜ駄目チームに)・話し合いの種類(会話≠議論≠対話。違いをメタ認知)・新たなアイデアを生み出す対話法・部下の意欲を高めるPDCAのコツ(場と言葉の作り方)	<ul style="list-style-type: none">☞チームの成立条件、対話活性化のポイントを学ぶ。☞集団が陥りがちなワナを知る(社会的手抜き、同調圧力、過剰忖度、リスクシフト、面子の地位保全など)☞弁証法(問いを立てる)の重要性を具体例で理解する。☞部下指導のPDCAの各場面で、どんな意図で、どのように場の雰囲気をつくり、言葉をどう選べば、部下の意欲向上・主体性醸成ができるかを習得する。
■「組織」の思考法 <ul style="list-style-type: none">・ヒント満載の日本経営品質賞アセスメント基準・よき組織の軸となる「基本理念」と「重視する考え方」・未来のありたい姿から現状をバックキャスト・そして組織は「事実前提」から「価値前提」へ・人間ドックならぬ組織ドックの間診項目を知ろう・切れ味抜群の業務改善手法	<ul style="list-style-type: none">☞講師自身の日本経営品質賞関連の様々な活動(経営品質協議会認定セルフアセッサーの資格・知識を活用した行政改革、企業経営革新支援等)を通じて得た知見を共有する。官民の具体例・エピソードを多数紹介、解説。☞業務改善について、ダラリの法則、ECRS(イクルス)、KPIツリーなど、各手法の効果的な使い方を習得する。
■日本経営品質賞の受賞組織に学ぶ <ul style="list-style-type: none">・なぜ一人ひとりが元気なのか・優れたチームワークと高い組織成果の源は何か	<ul style="list-style-type: none">☞受賞組織の現場ドキュメンタリーDVDを視聴し、気づきを各自で付箋に書き出し、模造紙で共有・構造化する。☞ワークで得た学びを自組織に応用する方法論を考える。
■まとめ	<ul style="list-style-type: none">☞思考法研修を振り返り、自らの実践プランをまとめる。

■本研修を受講した研修生の感想

☞まさに目からウロコ。思考法を知らずに、闇雲に成果を求めても達成できない理由を、極めて論理的・実践的に学ぶことができました。この研修にもっと早く出会いたかったです。

☞対話の良し悪しが、意欲や成果に直結するんですね。今後は対話を、意識して大切にします。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

☞講師は、市役所在籍時代の行政経験(行革や職員研修等を担当)に加え、日本経営品質賞の関係でも多数民間組織との交流や企業経営革新支援を通じて得た「現場発の知見」が豊富です。解説もわかりやすく、楽しく学べます。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>